



ラオス・クリーン農業開発プロジェクト

クリーン農業ニュースレター

第4号 2020年3月発行

このプロジェクトは5年間（2017-2022）の JICA による技術協力プロジェクトで、ビエンチャン市、ルアンパバン県、サイヤブリ県及びシェンクワン県の4つのパイロット県を対象としています。プロジェクトは、パイロット県における市場ニーズに基づくクリーン農業（有機農業及び GAP）の推進を目的として活動しています。

最近のトピックス

1. 有機農業の村～タサン村～

タサン村はビエンチャン市中心部から60キロ程に位置しています。2000年代に農林省農業局と Helvetas（スイスの NGO）の支援により実施された Promotion of Organic Farming and Marketing (PROFIL) プロジェクトを通じ、2010年9月に8農家からなる有機農業 (OA) グループを結成し、約1haの農地で有機農業が始まりました。その後、2016年には75農家によって、農地は60haに拡大しました。現在、このOAグループには、村全世帯の75%に相当する111農家が参加し、農地は137haへと更なる広がりをみせています。



流通業者向けレタスの収穫

ビエンチャン市内に開設された三つのOAマーケットを中心に、野菜・果物の販売を行っています。プロジェクトでは、OAマーケットのPR活動を支援する他、新たな市場開拓のための流通業者やレストラン等への販売促進にも取り組んでいます。

一方、有機農業の拡大にともない、タサン村での「土づくり」への関心も高まり、良質な堆肥の需要が増しています。このため、OAグループは今年1月から、週2～3回の頻度で堆肥施設づくりに取り組



流通業者とのベビー・カボチャ規格の情報交換

んでいます。労働力と建築に必要な木材等の調達はOAグループが自ら担い、屋根資材は農林省からの支援を受けています。プロジェクトからは、より効率的な堆肥づくりを行うため、床面資材（セメント・砂利・砂）を支援しています。この様に、ビエンチャン市における有機農業の推進において、タサン村OAグループは先駆的な役割を担っており、ビエンチャン市のみならず他地域へのモデル事例としての躍進が期待されます。



OAグループによる堆肥施設づくり

2. 日本の農林水産省職員のドンナソックOAマーケット訪問

プロジェクトではラオスのクリーン農業に関心を持つ多くの日本の関係者を受け入れています。

2020年2月20日（木）、日本の農林水産省から4名の若手職員が、海外派遣技術者研修の一環として、ビエンチャン市のドンナソック OA マーケットを訪問しました。JICA プロジェクト専門家から、プロジェクト活動の中で、ビエンチャン市の野菜・果物の有機農家グループを支援していること、及びマーケットで農家が消費者に直接販売する方式で、一定の顧客を得ていることを説明しました。



日本の農林水産省職員の視察状況

3. ビエンチャン市の OA マーケットに関する新聞広告

2020年2月18日（火）からの4週間、週2回のペースでビエンチャン市の OA マーケットに関する広告をラオスで唯一の英字新聞である「Vientiane Times」とラオスで広く読まれているラオス語の「Vientiane Mai」の2紙に掲載しました。

これまでプロジェクトではラオス航空の機内誌（2019年1・2月号）に広告を出したり、様々なイベントを通じてビエンチャン市の OA マーケットに関するビラを配布する等の広報活動を実施してきました。



2紙に掲載された新聞広告

また、ビエンチャン市の有機農産物を取り扱っている Organic Home は積極的に Facebook による情報発信を行っています。ビエンチャン市に在住の外国人をはじめ、新聞広告を見て関心を持った人から多くの問い合わせが来ています。プロジェクトでは今後とも積極的に様々な媒体を通じた広報活動を実施していく予定です。

4. シェンクワン県における新たな OA マーケットの開設

OA マーケットはビエンチャン市だけではなくありません。プロジェクト対象県の一つシェンクワン県でも、2009年に設立された有機農家グループが中心となって OA マーケットを設立しています。

当初52名でスタートしたメンバー数は現在100名を超えています。シェンクワン県の有機農家グループの特徴は女性の数が多いことです。これまで1か所の OA マーケットで週2回水曜日と土曜日の早朝に販売を行っていました。2020年の1月より新たな OA マーケットをポンサワン市場内に設立し、月曜日と木曜日の午後に販売を行っています。

新たな OA マーケットを設置した理由は、有機農家グループのメンバーの数が増えたことと、消費者にとってより便利な場所に設置したいとの意向からです。有機農家グループとペーク郡農林事務所の職員が話し合いを重ねた上で、新たな OA マーケットの設置を決定しました。この2か所の OA マーケットが核となって、県内のクリーン農業の関心が高まることを期待します。



シェンクワンの新 OA マーケットの様子